

2017年10月25日

# 2016年度における朝日大学学生の GPA 傾向 (最終報告案)

朝日大学 IR 推進本部

2016年度 GPA は、2017年度3月末のデータとし、2017年5月に収集した。



## 目 次

I. 目 的	.....	3
II. 方 法	.....	3
1) 対象学生		
2) 評価項目		
3) 統計		
III. 結 果	.....	5
1. 全体		
2. 法学部	.....	6
3. 経営学部		
1) 経営学科	.....	10
2) ビジネス企画学科	.....	14
4. 保健医療学部看護学科	.....	18
5. 歯学部	.....	21
IV. 小 括	.....	26
V. ま と め	.....	29

# I 目 的

朝日大学では、学生の成績評価を GPA (Grade Point Average) にて行っている。しかし、これまで本学学生がどのような GPA を獲得し分布しているか全学的に調査したものはなかった。学生成績の全体像を知ることは、各学部・学科あるいは学年における学生教育・指導やシラバス作成の際に参考になるばかりでなく、またさらに各入試区分との関係の検討、学年間・性別間および入学後の成績を詳細に分析することにより、学生選抜方法、各学年の学習到達度評価、あるいはアドミッションポリシー (AP)、カリキュラムポリシー (CP)、ディプロマポリシー (DP)の作成や見直しの際にも重要な資料となるものと考ええる。

そこで、朝日大学 IR 推進委員会は、2016 年度の前期までの成績 (GPA 値) について、「朝日大学における学生の GPA による評価および入試区分との関係、2017 年 3 月 28 日版」と題して予備的に報告してきた。

本報告では、さらに 2016 年度後学期も含め、入学時から各学年終了時あるいは卒業までの各学部・学科の総合的 GPA 値について検討したものである。

# II 方 法

## 1 対象学生および GPA の提出

- 1) 2016 年度朝日大学に在籍する法学部、経営学部、保健医療学部看護学科、歯学部の学生を対象とした。大学院生、留学生別科生、歯科衛生士専門学校生は除く。
- 2) 法学部、経営学部 (経営学科、ビジネス企画学科) は 1 年生から 4 年生卒業までの 2016 年度末時点での総合評価 GPA 値を有する学生を対象とした。
- 3) 保健医療学部看護学科は、1 年生から 3 年生の 2016 年末時点での総合評価 GPA 値を分析対象とした。
- 4) 歯学部では 2016 年度の 1 年生から 6 年生卒業までの GPA 値を分析対象とした。
- 5) なお、2016 年度末で留年となった者は前年度までの GPA 値を分析対象とした。
- 6) 最終成績の提出は 2017 年 4 月 27 日～5 月 27 日の期間とし、各関係部署・担当者に依頼を行った。

## 2 GPA 評価

GPA 評価は、以下の基準を用いた。

成績の評価		
5段階評価	素点	GP
S	100-90	4.0
A	89-80	3.0
B	79-70	2.0
C	69-60	1.0
D	59 以下	0.0

学年 GPA= (当該学年に評価を受けた授業科目の GP x 当該授業科目数の単位数) の  
合計 / 当該学年に評価を受けた授業科目の単位数の合計

総合 GPA= (在学期間中に評価を受けた授業科目の GP x 当該授業科目数の単位数)  
の合計 / 在学期間中に評価を受けた授業科目の単位数の合計

\*ただし、留年者は留年時学年の最後の年の GPA 評価を用いる。例えば歯学部 6 年生  
で留年した場合、当該年度の 6 年生としての GPA 評価はなく、前年 5 年生までの GPA  
値が有効でその値を適応する。

## 3 評価項目

全学部共通

- 1) 全学年および男女別の GPA 平均値とヒストグラム表示
- 2) 学年別、および男女別の GPA 平均値とヒストグラム表示
- 3) 入試区分別および全学年入試区分別男女別の GPA 平均値とヒストグラム
- 4) GPA と高校評定値との相関について

## 4 統計

平均 GPA 値、学年間、男女間、入試区分間、入試区分+学年+男女は、分散分析  
(ANOVA)あるいは t-検定で、また GPA と高校評定値との関係はピアソンの相関係数で  
評価した。いずれも危険率 5%( $p < 0.05$ )未満を有意と判定した。

\*今回、学部間の評価、および同一学部内での学科間の評価は行っていない。

\*経営学部は、経営学科とビジネス企画学科に分けて検討した。

\*人数の少ない群については、統計的な検討から除外した。

### Ⅲ 結 果

#### 1 全学部

提出期限内に、全学部の関係部署から GPA に関するデータの提出があった。2016 年度に最終成績が提出された人数は、法学部 394 名、経営学部経営学科 325 名、経営学部ビジネス企画学科 466 名、保健医療学部看護学科 245 名、歯学部 839 名の計 2,269 名であった。性別および入試区分別の概要は表 1 の通りである。なお 2016 年度における休学者、退学者、留年者で GPA 値記録のないものは除外した。除外した人数は、保健医療学部看護学科 5 名、歯学部 38 名であった。

全体的な GPA は、経営学部経営学科が高い値を示し、法学部が低い傾向を示していた。

表 1 2016 年度朝日大学 4 学部 5 学科における学生の最終 GPA 値と入試区分

学部・学科	全学 GPA平均			入試区分別GPA値								
	全体	男子	女子	指定校推薦	一般・スポーツ推薦	AO入試	一般入試	センター	留学生	編入学	再入学	
法学部	データ数	394	334	60	97	208	60	16	12	1	—	—
	GPA	<b>2.14</b>	<b>2.10</b>	<b>2.40</b>	<b>2.68</b>	<b>1.92</b>	<b>1.95</b>	<b>2.11</b>	<b>2.78</b>	<b>1.2</b>	—	—
	標準偏差	0.83	0.83	0.76	0.70	0.71	0.87	1.12	0.80	—	—	
経営学部経営学科	データ数	325	218	107	76	86	71	8	4	80	—	—
	GPA	<b>2.63</b>	<b>2.53</b>	<b>2.86</b>	<b>3.13</b>	<b>2.40</b>	<b>3.06</b>	<b>2.15</b>	<b>3.30</b>	<b>2.05</b>	—	—
	標準偏差	0.96	0.98	0.86	0.64	0.93	1.02	1.38	0.24	0.71	—	—
経営学部ビジネス企画学科	データ数	466	399	67	77	295	69	6	3	16	—	—
	GPA	<b>2.23</b>	<b>2.14</b>	<b>2.80</b>	<b>2.59</b>	<b>2.16</b>	<b>2.06</b>	<b>2.45</b>	<b>3.67</b>	<b>2.16</b>	—	—
	標準偏差	0.77	0.73	0.79	0.84	0.72	0.76	0.74	0.12	0.88	—	—
保健医療学部看護学科	データ数	245	38	207	28	104	—	111	2	—	—	—
	GPA	<b>2.43</b>	<b>2.14</b>	<b>2.48</b>	<b>2.61</b>	<b>2.25</b>	—	<b>2.54</b>	<b>2.66</b>	—	—	—
	標準偏差	0.50	0.57	0.47	0.36	0.45	—	0.53	0.43	—	—	—
歯学部	データ数	839	558	281	111	129	176	359	33	—	26	4
	GPA	<b>2.33</b>	<b>2.22</b>	<b>2.55</b>	<b>2.37</b>	<b>2.21</b>	<b>2.18</b>	<b>2.37</b>	<b>2.53</b>	—	<b>3.02</b>	<b>1.79</b>
	標準偏差	0.68	0.65	0.69	0.68	0.67	0.64	0.68	0.75	—	0.45	0.35
* 全学部2017年3月末の成績を基にIR本部に提出されたGPA値を集計・記載												
* 帰国子女(歯学部n数には含んでいる) 1名 GPA 3.77												
	全体計	2269 名										
	男子	1547 名										
	女子	722 名										

## 2 法学部

法学部における入試区分と GPA 値との関係について検討した結果、次の様であった。

- ① 法学部における全学年の GPA 平均値 (SD)は、2.14(0.83)であった。平均をピークに左右にほぼ正規分布していた。(表 2-1、図 2-1)
- ② 全体的には、女子学生の方が GPA 値は高かった。(表 2-1、図 2-2)
- ③ 学年間で GPA の差はみられなかった。(表 2-2)
- ④ GPA の性差は、3 年生で女子が高かったが、他はみられない傾向にあった。(表 2-3)
- ⑤ 入試区分別では、センター入試 2.78 が有意に高い GPA 値を示し、次いで指定校推薦 2.68 であった。(表 2-4)
- ⑥ 入試区分と性差との関係を見ると、一般・スポーツ推薦に女子が有意に高い GPA 値を示していたが、指定校推薦には性差はなかった。(表 2-5)
- ⑦ 学年別に入試区分との関係を検討すると、指定校推薦と一般入試が高い GPA を示していた。(表 2-6, 7、図 2-3)
- ⑧ いずれの学年とも GPA と高校評定値との間に、比較的有意に高い正の相関が認められた。(表 2-8、図 2-4)

表 2-1 法学部全体の GPA 値

	全 体	男	女
データ数	394	334	60
平 均	2.14	2.10	2.40
標準偏差	0.83	0.83	0.76
性 差 (p)		0.0108	

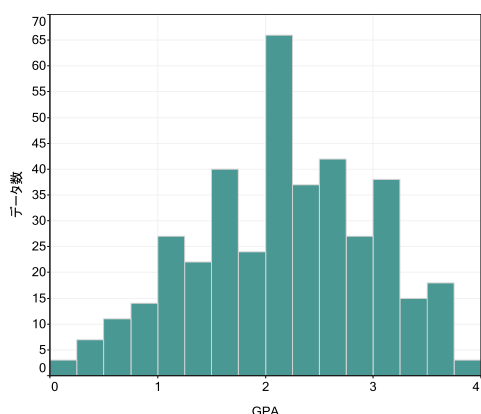


図 2-1 全学年 GPA

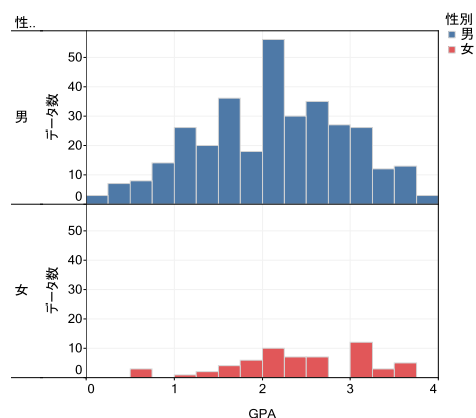


図 2-2 性別 GPA

表 2-2 法学部学年別 GPA 値

学 年	1	2	3	4
データ数	80	98	95	121
平 均	<b>1.94</b>	<b>2.14</b>	<b>2.22</b>	<b>2.23</b>
標準偏差	0.89	0.83	0.80	0.79
学年間差	ns			
	ns: not significant			

表 2-3 法学部学年別・性別 GPA 値

学 年	1		2		3		4	
	男	女	男	女	男	女	男	女
データ数	71	9	90	8	79	16	94	27
平 均	<b>1.92</b>	<b>2.08</b>	<b>2.15</b>	<b>2.03</b>	<b>2.12</b>	<b>2.71</b>	<b>2.17</b>	<b>2.43</b>
標準偏差	0.93	0.57	0.86	0.25	0.76	0.85	0.78	0.80
性 差 (p)	ns		ns		0.0075		ns	
	ns: not significant							

表 2-4 法学部入試区分別 GPA 値

入試区分	指定校推薦	一般・スポーツ推薦	A〇入試	一般入試	センター	外国人留学生 Ⅱ期（一般） 秋季
データ数	97	208	60	16	12	1
平 均	<b>2.68</b>	<b>1.92</b>	<b>1.95</b>	<b>2.11</b>	<b>2.78</b>	<b>1.20</b>
標準偏差	0.70	0.71	0.87	1.12	0.80	
ANOVA (p)	0.0000					—
	-: 検討除外					

表 2-5 法学部入試区分別・性別 GPA 値

性 別	入試区分	指定校推薦	一般・スポーツ推薦	A〇入試	一般入試	センター	外国人留学生 Ⅱ期（一般） 秋季
男	データ数	84	169	56	14	10	1
	平 均	<b>2.64</b>	<b>1.86</b>	<b>1.95</b>	<b>1.99</b>	<b>2.68</b>	<b>1.20</b>
	標準偏差	0.71	0.71	0.87	1.14	0.83	
女	データ数	13	39	4	2	2	
	平 均	<b>2.92</b>	<b>2.19</b>	<b>1.90</b>	<b>2.95</b>	<b>3.30</b>	
	標準偏差	0.61	0.68	1.04	0.64	0.42	
性 差 (p)	ns	0.0081	—	—	—		
	ns: not significant, -: 検討除外						



表 2-6 法学部入試区分別・学年別 GPA 値

学 年	指定校推薦	一般・スポーツ推薦	AO入試	一般入試	センター	外国人留学生Ⅱ期(一般)秋季
1	データ数	16	49	10	4	1
	平均	<b>2.38</b>	<b>1.81</b>	<b>1.55</b>	<b>2.88</b>	<b>1.20</b>
	標準偏差	0.71	0.84	1.03	0.97	
2	データ数	22	53	20		3
	平均	<b>2.78</b>	<b>1.87</b>	<b>2.06</b>		<b>2.87</b>
	標準偏差	0.79	0.59	0.98		1.14
3	データ数	24	47	18	2	4
	平均	<b>2.83</b>	<b>1.97</b>	<b>1.94</b>	<b>1.95</b>	<b>2.85</b>
	標準偏差	0.52	0.75	0.77	1.34	0.86
4	データ数	35	59	12	10	5
	平均	<b>2.65</b>	<b>2.03</b>	<b>2.08</b>	<b>1.84</b>	<b>2.68</b>
	標準偏差	0.73	0.68	0.69	1.11	0.73

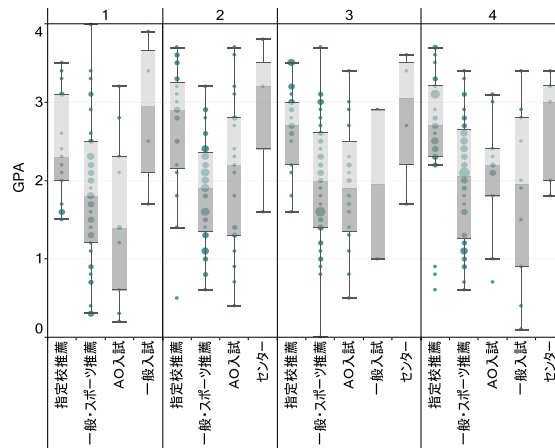


図 2-3 学年別・入試区分別 GPA

表 2-7 法学部入試区分別・学年別・性別 GPA 値

学年	性別	指定校推薦	一般・スポーツ推薦	AO入試	一般入試	センター	外国人留学生Ⅱ期(一般)秋季
1	男	データ数	13	45	9	3	1
		平均	<b>2.45</b>	<b>1.79</b>	<b>1.49</b>	<b>3.00</b>	<b>1.20</b>
		標準偏差	0.75	0.84	1.08	1.15	
	女	データ数	3	4	1	1	
		平均	<b>2.03</b>	<b>2.00</b>	<b>2.10</b>	<b>2.50</b>	
		標準偏差	0.40	0.84			
2	男	データ数	22	45	20		3
		平均	<b>2.78</b>	<b>1.84</b>	<b>2.06</b>		<b>2.87</b>
		標準偏差	0.79	0.63	0.98		1.14
	女	データ数		8.00			
		平均		<b>2.03</b>			
		標準偏差		0.25			
3	男	データ数	19	39	16	2	3
		平均	<b>2.72</b>	<b>1.83</b>	<b>2.03</b>	<b>1.95</b>	<b>2.60</b>
		標準偏差	0.52	0.70	0.72	1.34	0.85
	女	データ数	5	8	2		1
		平均	<b>3.24</b>	<b>2.63</b>	<b>1.25</b>		<b>3.60</b>
		標準偏差	0.25	0.65	1.06		
4	男	データ数	30	40	11	9	4
		平均	<b>2.57</b>	<b>1.98</b>	<b>2.00</b>	<b>1.67</b>	<b>2.60</b>
		標準偏差	0.74	0.65	0.66	1.02	0.82
	女	データ数	5	19	1	1	1
		平均	<b>3.14</b>	<b>2.13</b>	<b>3.00</b>	<b>3.40</b>	<b>3.00</b>
		標準偏差	0.43	0.75			

表 2-8 法学部 GPA と高校評定値との相関

学年	人数	傾き	切片	R <sup>2</sup>	r	p 値
1	80	0.56	-0.15	0.56	0.75	0.0005
2	98	0.60	-0.08	0.60	0.77	0.0001
3	95	0.47	0.42	0.47	0.69	0.0025
4	121	0.65	-0.19	0.65	0.81	0.0000

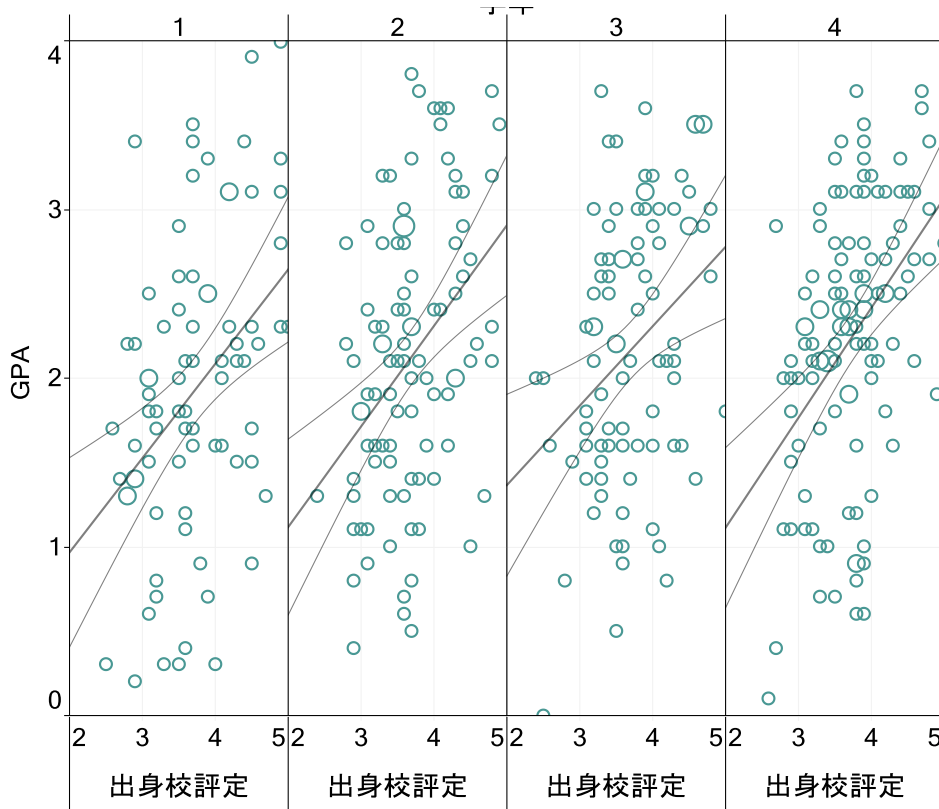


図 2-4 法学部における高校評定と GPA との相関

### 3 経営学部

#### 1) 経営学部経営学科

- ① 経営学科における全学年の GPA 値 (SD)は、2.63(0.96)であった。GPA 値 3 以上で 4 に近い GPA を示す学生が多いのが本科の特徴であった。(表 3-1)-1、図 3-1)-1)
- ② 全体的には、女子学生の方が GPA 値は高かった。(表 3-1) -1、図 3-1)-2)
- ③ 学年間には差はなかった。(表 3-1)-2)
- ④ 性差は、3 学年を除き認められなかった。(表 3-1)-3)
- ⑤ 入試区分では、指定校 3.13 が AO 入試 3.06 やスポーツ推薦入試 2.40 に対し、有意に高い GPA を示し、留学生 2.05 が最も低い GPA を示していた。なお入試区分の検討で一般入試およびセンター試験入試は対象者が少ないため有意性の検討からは除外した。(表 3-1)-4、図 3-1) -3)
- ⑥ 入試区分で性差が認められ、いずれも女子が高かった。(表 3-1)-5、6、7)
- ⑦ 学年別に入試区分との関係を検討すると、指定校推薦が高い GPA を示し、留学生が低かった。(表 3-1) -6、7、図 3-1)-4)
- ⑧ GPA と高校評定との間には、全体的に高い正の相関が認められた。(表 3-1)-8、図 3-1) -5)

表 3-1)-1 経営学科全体の GPA 値

	全 体	男	女
データ数	325	218	107
平 均	<b>2.63</b>	<b>2.53</b>	<b>2.86</b>
標準偏差	0.96	0.98	0.86
性差(p)			<b>0.0033</b>

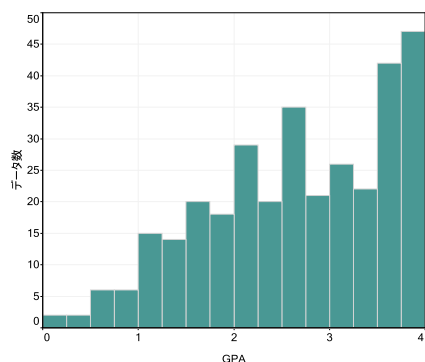


図 3-1)-1 全学年 GPA

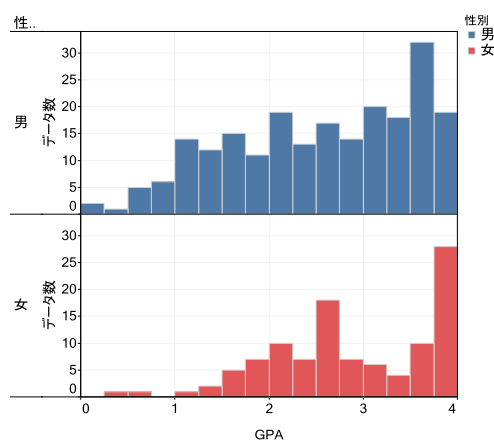


図 3-1)-2 性別 GPA

表 3-1)-2 経営学科学年別 GPA 値

学 年	1	2	3	4
データ数	88	69	81	87
平 均	<b>2.46</b>	<b>2.81</b>	<b>2.69</b>	<b>2.62</b>
標準偏差	0.99	0.90	0.86	1.04
ANOVA (p)	ns			
	ns: not significant			

表 3-1)-3 経営学科学年別・性別 GPA 値

学 年	1		2		3		4	
	男	女	男	女	男	女	男	女
データ数	63	25	42	27	50	31	63	24
平 均	<b>2.41</b>	<b>2.56</b>	<b>2.70</b>	<b>3.00</b>	<b>2.53</b>	<b>2.96</b>	<b>2.52</b>	<b>2.86</b>
標準偏差	1.01	0.93	0.90	0.87	0.90	0.74	1.08	0.89
性 差 (p)	ns		ns		<b>0.027</b>		ns	
	ns: not significant							

表 3-1)-4 経営学科入試区分別 GPA 値

入試区分	指定校推薦	一般・スポーツ推薦	A〇入試	一般入試	センター	留学生
データ数	76	86	71	8	4	80
平 均	<b>3.13</b>	<b>2.40</b>	<b>3.06</b>	<b>2.15</b>	<b>3.30</b>	<b>2.05</b>
標準偏差	0.64	0.93	1.02	1.38	0.24	0.71
ANOVA (p)	<b>0.0000</b>		-	-	<b>0.0000</b>	
	-: 検討せず					

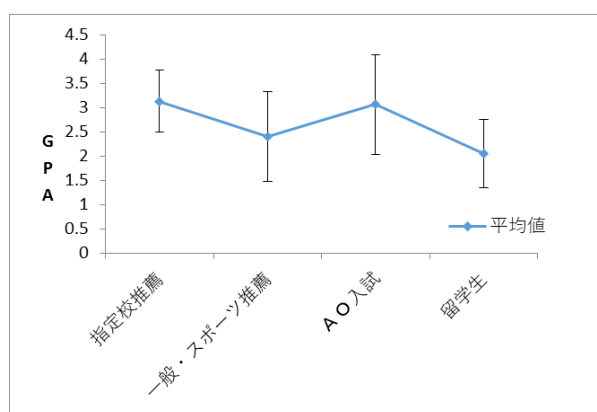


図 3-1)-3 入試区分別 GPA

表 3-1)-5 経営学科入試区分別・性別 GPA 値

性別	入試区分	指定校推薦	一般・スポーツ推薦	A〇入試	一般入試	センター	留学生
男	データ数	56	70	49	7	3	33
	平 均	<b>3.02</b>	<b>2.26</b>	<b>2.82</b>	<b>1.96</b>	<b>3.20</b>	<b>1.88</b>
	標準偏差	0.65	0.93	1.11	1.37	0.17	0.73
女	データ数	20	16	22	1	1	47
	平 均	<b>3.44</b>	<b>3.03</b>	<b>3.59</b>	<b>3.50</b>	<b>3.60</b>	<b>2.18</b>
	標準偏差	0.53	0.62	0.49			0.67
性 差 (p)	<b>0.0106</b>	<b>0.0026</b>	<b>0.0031</b>	-	-	NS	
	ns: not significant, -: 検討せず						

表 3-1)-6 経営学科入試区分別・学年別 GPA 値

学年	入試区分	指定校推薦	一般・スポーツ推薦	AO入試	一般入試	センター	留学生
1	データ数	18	29	16	2		23
	平均	<b>3.22</b>	<b>2.14</b>	<b>2.92</b>	<b>2.35</b>		<b>1.94</b>
	標準偏差	0.68	0.85	1.17	2.05		0.63
2	データ数	14	17	17		2	19
	平均	<b>3.18</b>	<b>2.89</b>	<b>3.24</b>		<b>3.35</b>	<b>2.03</b>
	標準偏差	0.59	0.81	0.94		0.35	0.67
3	データ数	25	16	19	3	1	17
	平均	<b>2.95</b>	<b>2.63</b>	<b>2.83</b>	<b>2.37</b>	<b>3.10</b>	<b>2.26</b>
	標準偏差	0.69	0.85	1.10	1.47		0.60
4	データ数	19	24	19	3	1	21
	平均	<b>3.24</b>	<b>2.21</b>	<b>3.24</b>	<b>1.80</b>	<b>3.40</b>	<b>2.03</b>
	標準偏差	0.59	1.02	0.88	1.44		0.89

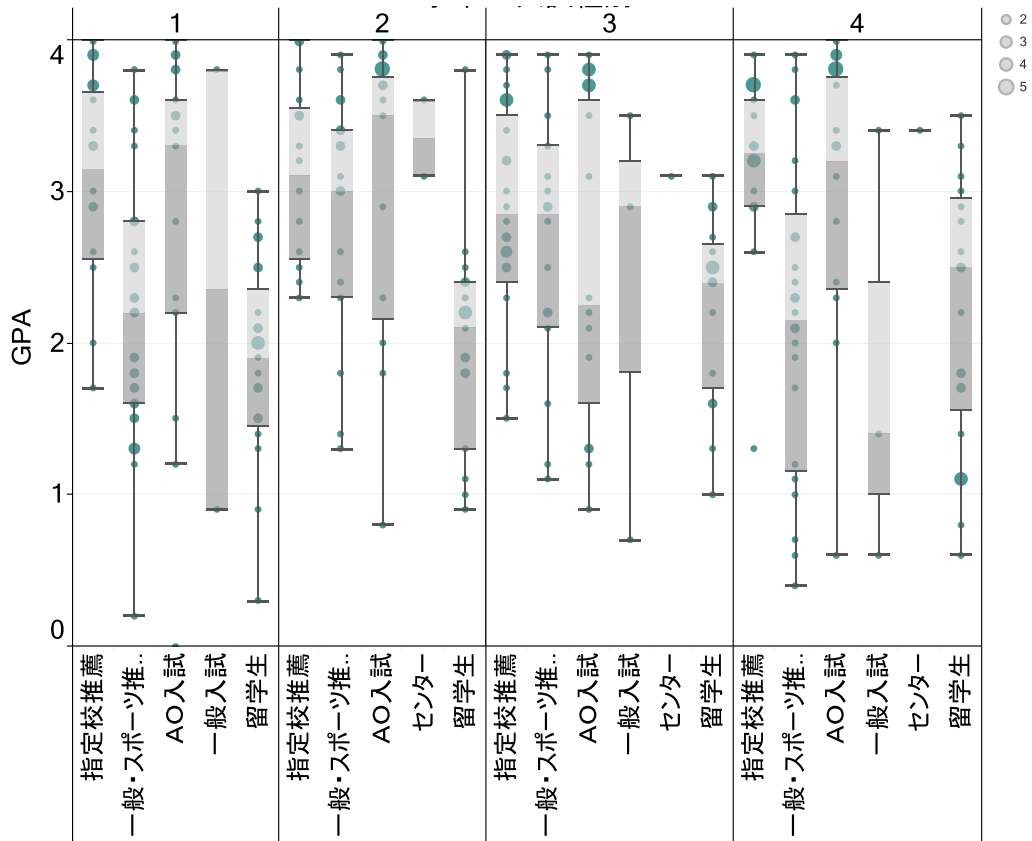


図 3-1)-4 学年別・入試区分別

表 3-1)-7 経営学科入試区分別・学年別・性別 GPA 値

学年	性別	入試区分	指定校推薦	一般・スポーツ推薦	A〇入試	一般入試	センター	留学生
1	男	データ数	13	26	13	2		9
		平均	<b>3.18</b>	<b>2.04</b>	<b>2.72</b>	<b>2.35</b>		<b>1.96</b>
		標準偏差	0.73	0.82	1.22	2.05		0.65
	女	データ数	5	3	3			14
		平均	<b>3.32</b>	<b>3.07</b>	<b>3.77</b>			<b>1.93</b>
		標準偏差	0.58	0.49	0.15			0.64
2	男	データ数	11	14	9		1	7
		平均	2.97	2.84	2.86		3.10	1.70
		標準偏差	0.48	0.85	1.15			0.62
	女	データ数	3	3	8		1	12
		平均	<b>3.93</b>	<b>3.13</b>	<b>3.68</b>		<b>3.60</b>	<b>2.23</b>
		標準偏差	0.11	0.61	0.32			0.64
3	男	データ数	16	10	16	2	1	5
		平均	<b>2.67</b>	<b>2.47</b>	<b>2.64</b>	<b>1.80</b>	<b>3.10</b>	<b>1.98</b>
		標準偏差	0.62	0.88	1.10	1.56		0.80
	女	データ数	9	6	3	1		12
		平均	<b>3.44</b>	<b>2.90</b>	<b>3.80</b>	<b>3.50</b>		<b>2.38</b>
		標準偏差	0.53	0.79	0.00			0.48
4	男	データ数	16	20	11	3	1	12
		平均	<b>3.26</b>	<b>2.03</b>	<b>3.16</b>	<b>1.80</b>	<b>3.40</b>	<b>1.88</b>
		標準偏差	0.61	0.99	1.01	1.44		0.88
	女	データ数	3	4	8			9
		平均	<b>3.17</b>	<b>3.10</b>	<b>3.35</b>			<b>2.22</b>
		標準偏差	0.55	0.66	0.72			0.91

表 3-1)-8 経営学科 GPA と高校評定値との相関

学年	人数	傾き	切片	R <sup>2</sup>	r	p 値
1	88	1.02	-1.32	0.40	<b>0.63</b>	<b>0.0000</b>
2	69	0.66	0.39	0.21	<b>0.45</b>	<b>0.0016</b>
3	81	0.85	-0.57	0.36	<b>0.60</b>	<b>0.0000</b>
4	87	1.20	-1.82	0.52	<b>0.72</b>	<b>0.0000</b>

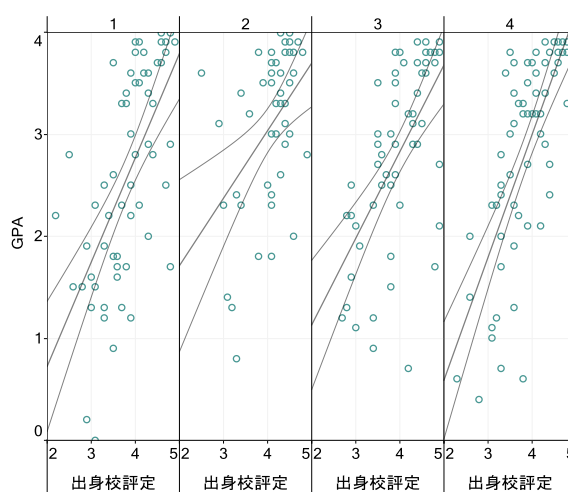


図 3-1)-5 経営学科における高校評定と GPA との相関

## 2) 経営学部ビジネス企画学科

- ① GPA 平均値 (SD)は 2.23 (0.77)であった。平均値を中心に左右にほぼ正規分布していた。(表 3-2)-1、図 3-2)-1)
- ② GPA は性差が認められ、男子 2.14 に対し女子 2.80 と女子が有意に高かった。(表 3-2)-1、図 3-2)-2)
- ③ 学年間に GPA の差はなかった。(表 3-2)-2)
- ④ 各学年とも性差が認められ、いずれも女子が高い GPA を示していた。(表 3-2)-3)
- ⑤ 入試区分では、入学者数の少なかった一般入試、センター入試を除くと、GPA は指定校 2.59 が有意に高く、AO 入試が 2.06 と低かった。(表 2)-(2)-4、図 3-2)-3)
- ⑥ 各入試区分とも性差が認められ、女子が高かった。(表 3-2)-5)
- ⑦ 学年別に入試区分との関係を検討すると、指定校推薦が高い GPA を示していた。(表 3-2) -6, 7、図 3-2)-4)
- ⑧ GPA と高校評定値との間には正の相関が認められた。中でも 1 年生の相関が  $r=0.81$  と高かった。(表 3-2)-8、図 3-2)-5)

表 3-2)-1 ビジネス企画学科全体の GPA 値

	全 体	男	女
データ数	466	399	67
平 均	<b>2.23</b>	<b>2.14</b>	<b>2.80</b>
標準偏差	0.77	0.73	0.79
性 差 (p)			<b>0.0000</b>

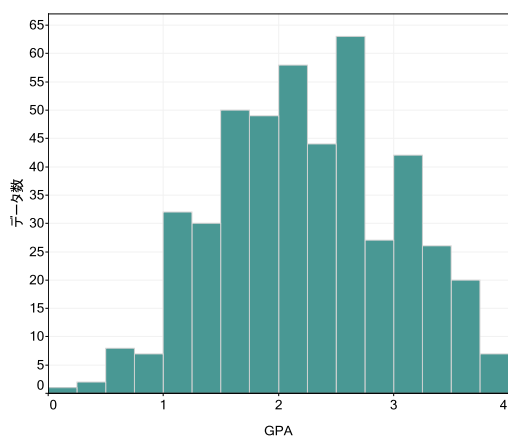


図 3-2)-1 全学 GPA

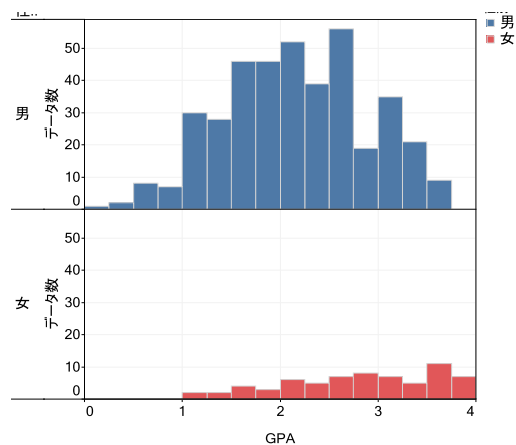


図 3-2)-2 全学性別 GPA

表 3-2)-2 ビジネス企画学科学年別 GPA 値

学 年	1	2	3	4
データ数	113	123	113	117
平 均	<b>2.34</b>	<b>2.18</b>	<b>2.14</b>	<b>2.27</b>
標準偏差	0.77	0.74	0.78	0.80
ANOVA (p)	ns			
	ns: not significant			

表 3-2)-3 ビジネス企画学科学年・性別 GPA 値

学 年	1		2		3		4	
	男	女	男	女	男	女	男	女
データ数	99	14	104	19	99	14	97	20
平 均	<b>2.23</b>	<b>3.13</b>	<b>2.11</b>	<b>2.55</b>	<b>2.07</b>	<b>2.64</b>	<b>2.13</b>	<b>2.93</b>
標準偏差	0.73	0.62	0.69	0.89	0.74	0.89	0.76	0.65
性 差 (p)	<b>0.0000</b>		<b>0.0187</b>		<b>0.0104</b>		<b>0.0000</b>	

表 3-2)-4 ビジネス企画学科入試区分別 GPA 値

入試区分	指定校推薦	一般・スポーツ推薦	AO入試	一般入試	センター	留学生
データ数	77	295	69	6	3	16
平 均	<b>2.59</b>	<b>2.16</b>	<b>2.06</b>	<b>2.45</b>	<b>3.67</b>	<b>2.16</b>
標準偏差	0.84	0.72	0.76	0.74	0.12	0.88
ANOVA (p)	<b>0.0000</b>			-	-	<b>0.0000</b>
	-: 検討せず					

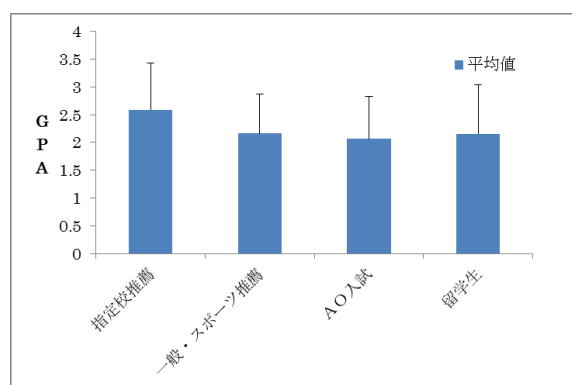


図 3-2)-3 一般、センター除く入試区分別 GPA 平均値



表 3-2)-5 ビジネス企画学科入試区分別・性別 GPA 値

入試区分		指定校推薦	一般・スポーツ推薦	AO入試	一般入試	センター	留学生
男	データ数	57	267	60	4	1	10
	平均	<b>2.44</b>	<b>2.12</b>	<b>1.95</b>	<b>2.30</b>	<b>3.60</b>	<b>1.78</b>
	標準偏差	0.79	0.70	0.70	0.68		0.78
女	データ数	20	28	9	2	2	6
	平均	<b>3.00</b>	<b>2.60</b>	<b>2.80</b>	<b>2.75</b>	<b>3.70</b>	<b>2.78</b>
	標準偏差	0.87	0.72	0.82	1.06	0.14	0.69
性差(p)		<b>0.0104</b>	<b>0.0006</b>	<b>0.0017</b>	-	-	<b>0.0291</b>
							-: 検討せず

表 3-2)-6 ビジネス企画学科入試区分別・学年別 GPA 値

学年	入試区分	指定校推薦	一般・スポーツ推薦	AO入試	一般入試	センター	留学生
1	データ数	14	80	14		1	4
	平均	<b>2.66</b>	<b>2.25</b>	<b>2.47</b>		<b>3.60</b>	<b>2.33</b>
	標準偏差	1.06	0.72	0.75			0.33
2	データ数	21	84	15	1		2
	平均	<b>2.40</b>	<b>2.18</b>	<b>1.95</b>	<b>2.50</b>		<b>1.65</b>
	標準偏差	0.84	0.69	0.79			1.34
3	データ数	14	73	19	2	1	4
	平均	<b>2.71</b>	<b>2.06</b>	<b>1.92</b>	<b>2.40</b>	<b>3.60</b>	<b>2.28</b>
	標準偏差	0.68	0.75	0.74	0.57		1.02
4	データ数	28	58	21	3	1	6
	平均	<b>2.64</b>	<b>2.16</b>	<b>2.00</b>	<b>2.47</b>	<b>3.80</b>	<b>2.13</b>
	標準偏差	0.83	0.71	0.72	1.11		1.07

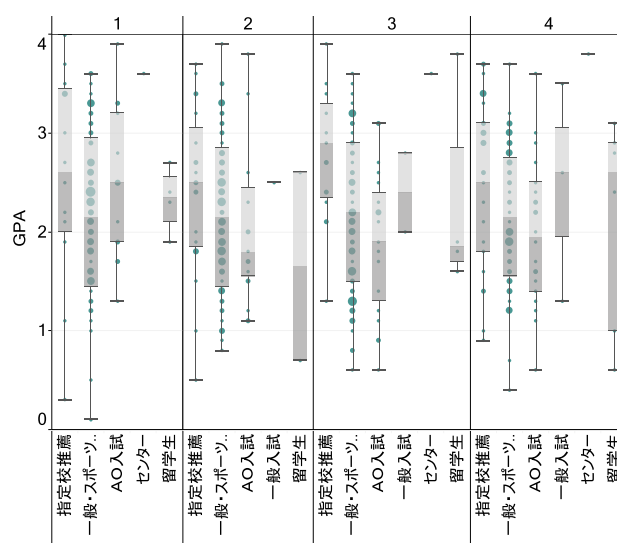


図 3-2)-4 ビジネス企画学科における学年別・入試区分別箱ヒゲグラフ

表 3-2)-7 ビジネス企画学科入試区分別・学年別・性別 GPA 値

学年	性別	入試区分	指定校推薦	一般・スポーツ推薦	A〇入試	一般入試	センター	留学生
1	男	データ数	12	72	11		1	3
		平均	2.46	2.16	2.31		3.60	2.33
		標準偏差	1.00	0.68	0.66			0.40
	女	データ数	2	8	3			1
		平均	3.85	3.08	3.07			2.30
		標準偏差	0.21	0.48	0.91			
2	男	データ数	17	73	11	1		2
		平均	2.27	2.15	1.67	2.50		1.65
		標準偏差	0.70	0.69	0.48			1.34
	女	人数	4	11	4			
		GPA平均	2.93	2.35	2.73			
		標準偏差	1.29	0.70	1.03			
3	男	データ数	10	68	18	1		2
		平均	2.55	2.04	1.91	2.80		1.75
		標準偏差	0.66	0.74	0.76			0.21
	女	データ数	4	5	1	1	1	2
		平均	3.10	2.24	2.20	2.00	3.60	2.80
		標準偏差	0.63	0.98				1.41
4	男	データ数	18	54	20	2		3
		GPA平均	2.53	2.11	1.96	1.95		1.33
		標準偏差	0.82	0.70	0.71	0.92		0.95
	女	人数	10	4	1	1	1	3
		平均	2.83	2.83	2.90	3.50	3.80	2.93
		標準偏差	0.85	0.26				0.15

表 3-2)-8 ビジネス企画学科 GPA と高校評定値との相関

学年	人数	傾き	切片	R2乗	r	p 値
1	113	0.66	0.01	0.66	0.81	0.0000
2	123	0.30	1.11	0.05	0.21	0.0276
3	113	0.49	0.42	0.13	0.35	0.0003
4	117	0.38	0.87	0.08	0.29	0.0043

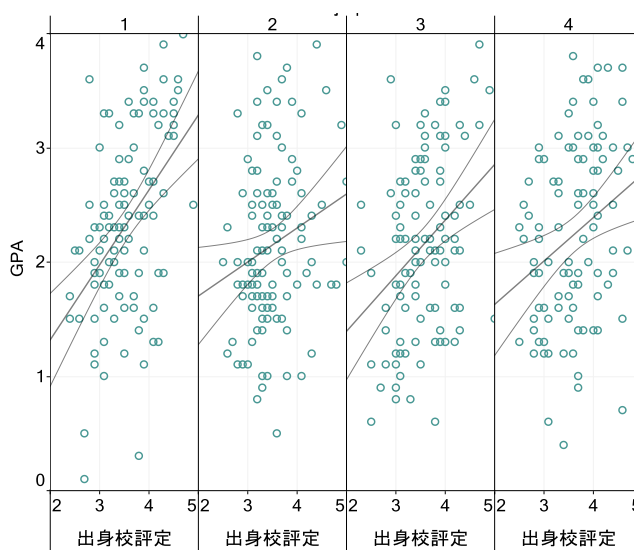


図 3-2)-5 ビジネス企画学科における高校評定値と GPA との相関

#### 4 保健医療学部看護学科

- ① GPA 平均値 (SD)は 2.43 (0.50)であった。平均値を中心にほぼ正規分布をしていた。(表 4-1、図 4-1)
- ② 性差については、女子 2.48 が男子 2.14 よりも有意に高い GPA 値を示していた。(表 4-1、図 4-2)
- ③ 学年間差については、GPA 値に差はみられなかった。(表 4-2)
- ④ 各学年の性差については、1 年生と 3 年生に認められ、有意に女子の GPA 値が高かった。(表 4-3)
- ⑤ 入試区分間に GPA の有意差が認められ、指定校 2.61 が最も高く、次いで一般入試 2.54、一般推薦 2.25 の順であった。(表 4-4)
- ⑥ GPA の入試区分別性差では、指定校、センターを除くと、一般推薦では差が無く、一般入試で女子が有意に高かった。(表 4-5)
- ⑦ 各学年における入試区分間差については、1 学年で有意差がみられ、指定校 2.83、一般入試 2.45、一般推薦 2.07 の順であった。2 年生では入試区分間で差はみられなかった。3 年生では一般入試 2.65 が一般推薦 2.37 に対し有意に高かった。(表 4-6,7)
- ⑧ GPA と高校評定値との間には、いずれの学年とも有意な正の相関が認められ、中でも 1 年生が  $r=0.66$  と 2, 3 年生に比較して高い正の相関を示していた。(表 4-8、図 4-3)

表 4-1 看護学科性別 GPA 値

性 別	全 体	女	男
データ数	245	207	38
平 均	<b>2.43</b>	<b>2.48</b>	<b>2.14</b>
標準偏差	0.50	0.47	0.57
性 差 (p)		<b>0.0001</b>	

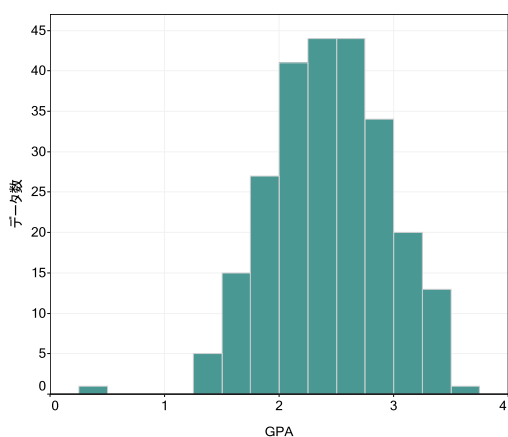


図 4-1 全学年 GPA

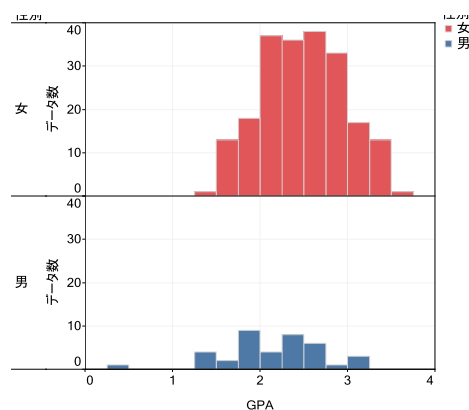


図 4-2 性別 GPA

表 4-2 看護学科学年別 GPA 値

学 年	1	2	3
データ数	79	80	86
平 均	<b>2.37</b>	<b>2.40</b>	<b>2.50</b>
標準偏差	0.55	0.42	0.52
ANOVA (p)	ns		
	ns: not significant		

表 4-3 看護学科学年別・性別 GPA 値

学 年	1		2		3	
	女	男	女	男	女	男
データ数	68	11	64	16	75	11
平 均	2.47	1.73	2.40	2.38	2.55	2.20
標準偏差	0.52	0.25	0.42	0.46	0.48	0.73
性差 (p)	<b>0.0000</b>		ns		<b>0.0393</b>	
					ns: not significant	

表 4-4 看護学科入試区分別 GPA 値

入試区分	指定校推薦	一般推薦	一般入試	センター
データ数	28	104	111	2
平 均	<b>2.61</b>	<b>2.25</b>	<b>2.54</b>	<b>2.66</b>
標準偏差	0.36	0.45	0.53	0.43
ANOVA (p)	<b>0.0000</b>			-
				-: 検討せず

表 4-5 看護学科入試区分別・性別 GPA 値

性別	入試区分	指定校推薦	一般推薦	一般入試	センター
女	データ数	26	89	90	2
	平 均	2.63	2.28	2.63	2.66
	標準偏差	0.36	0.46	0.45	0.43
男	データ数	2	15	21	
	平 均	2.28	2.09	2.16	
	標準偏差	0.03	0.40	0.69	
性差 (p)	-	ns	<b>0.0002</b>	-	
				-: 検討せず	

表 4-6 看護学科入試区分別・学年別 GPA 値

学年	入試区分	指定校推薦	一般推薦	一般入試	センター
1	データ数	13	31	35	
	平 均	<b>2.83</b>	<b>2.07</b>	<b>2.45</b>	
	標準偏差	0.37	0.45	0.55	
	ANOVA (p)	<b>0.0000</b>			
2	データ数	15	27	36	2
	平 均	<b>2.41</b>	<b>2.24</b>	<b>2.50</b>	<b>2.66</b>
	標準偏差	0.23	0.45	0.44	0.43
	ANOVA (p)	ns			
3	データ数		46	40	
	平 均		<b>2.37</b>	<b>2.65</b>	
	標準偏差		0.43	0.59	
	ANOVA (p)		<b>0.0134</b>		
					ns: not significant

表 4-7 看護学科入試区分別・学年別・性別 GPA 値

学年	性別	入試区分	指定校推薦	一般推薦	一般入試	センター
1	女	データ数	13	25	30	
		平均	<b>2.83</b>	<b>2.16</b>	<b>2.57</b>	
		標準偏差	0.37	0.44	0.49	
	男	データ数		6	5	
		平均		<b>1.72</b>	<b>1.74</b>	
		標準偏差		0.27	0.26	
2	女	データ数	13	24	25	2.00
		平均	<b>2.44</b>	<b>2.22</b>	<b>2.54</b>	<b>2.66</b>
		標準偏差	0.24	0.47	0.38	0.43
	男	データ数	2	3	11	
		平均	<b>2.28</b>	<b>2.37</b>	<b>2.40</b>	
		標準偏差	0.03	0.28	0.55	
3	女	データ数		40	35	
		平均		<b>2.38</b>	<b>2.74</b>	
		標準偏差		0.45	0.44	
	男	データ数		6	5	
		平均		<b>2.33</b>	<b>2.04</b>	
		標準偏差		0.27	1.09	

表 4-8 看護学科 GPA と高校評定値との相関

学年	人数	傾き	切片	R <sup>2</sup>	r	p 値
1	79	0.44	0.73	0.44	<b>0.66</b>	<b>0.0000</b>
2	80	0.23	1.53	0.08	<b>0.28</b>	<b>0.0121</b>
3	86	0.28	1.50	0.09	<b>0.30</b>	<b>0.0049</b>

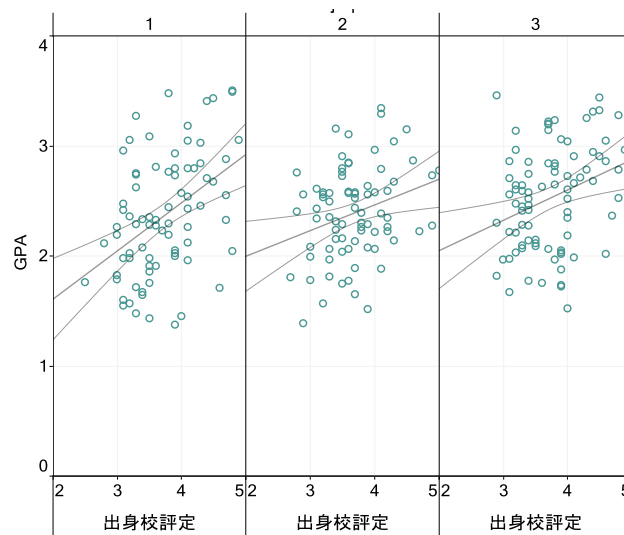


図 4-3 看護学科における高校評定と GPA との相関

## 5 歯学部

- ① 2016年度新学期の開始時点では、全体で 877 名(1 学年 134、2 学年 149、3 学年 145、4 学年 145、5 学年 159、6 学年 145 名)であった。しかしその年度の最終成績まで出せたのは、1 学年 117、2 学年 122、3 学年 125、4 学年 113、5 学年 128、6 学年 107 名の計 712 名であった。そこに留年者(2 学年留年 21、3 学年留年 17、4 学年留年 27、5 学年留年 27、6 学年留年 35 名)を含めると、各学年の GPA 対象者は 1 学年 138、2 学年 139、3 学年 152、4 学年 140、5 学年 163、6 学年 107 名の計 712 名となる。ただし留年者は該当年の GPA 成績はないため、前年の GPA 値を適用し、統計処理を行った。
- ② 全学年 GPA の平均値 (SD)は 2.33 (0.68)で、左方にピークがあった。(表 5-1、図 5-1)
- ③ 全学年の性差は、女子 2.55 が男子 2.22 より有意に高い GPA 値を示した。(表 5-1、図 5-2)
- ④ 学年間では、1 年生 2.98 が最も高く、6 年生 2.14 まで、学年の進行で GPA 値は有意に低下していた。(表 5-2、図 5-3)
- ⑤ しかし学年別 GPA のヒストグラムを検討すると、1 年生のみが GPA の低、中、高にそれぞれピークをもつ“いびつ”な分布を示している。これが何に原因するのか 1 年生科目を担当する者は精査すべきであろう。(図 5-4)
- ⑥ GPA 性差について、1, 2, 3, 5 年生で有意な差がみられ、いずれも女子が高かった。(表 5-3)
- ⑦ 入試区分間の比較では、編入学 3.02 の GPA は他の全ての入試区分より有意に高く、次いでセンター入試 2.53、一般入試 2.37、指定校推薦 2.37 の順であり、一般推薦 2.21 と AO 入試 2.18 は、GPA は有意に低かった。(表 5-4)
- ⑧ 入試区分別性差について、指定校、一般推薦、AO、一般入試において、GPA はいずれも女子が男子より高かった。(表 5-5、表 5-6,7,8)
- ⑨ 3～6 年生における編入学生の GPA 値は他の入試区分より著しく高かった。ただし 1 年生においては箱ひげグラフのトレンドは他の学年と異なり全体に上位に平均があり下方に偏差が大きい特徴があった。これが何を意味するのか検討すべきである。(図 5-5)

表 5-1 歯学部全体の GPA 値

	全 体	男	女
データ数	839	558	281
平均	<b>2.33</b>	<b>2.22</b>	<b>2.55</b>
標準偏差	0.68	0.65	0.69
性 差 (p)		<b>0.0000</b>	

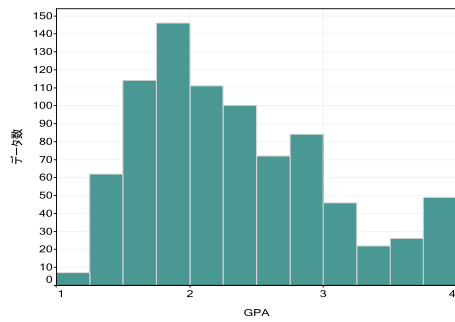


図 5-1 全学年 GPA

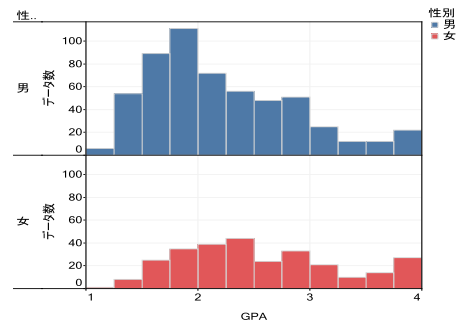


図 5-2 性別 GPA

表 5-2 歯学部学年別 GPA 値

学 年	1	2	3	4	5	6
データ数	138	139	152	140	163	107
平均	2.77	2.36	2.20	2.17	2.26	2.22
標準偏差	0.95	0.65	0.58	0.60	0.54	0.51
ANOVA (p)	<b>p=0.000</b>					

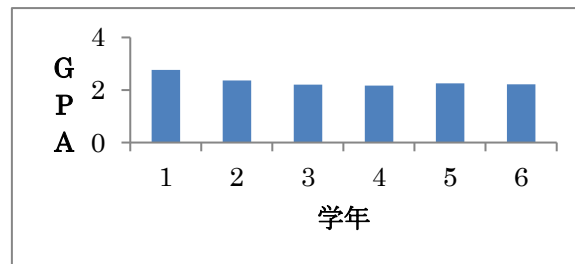
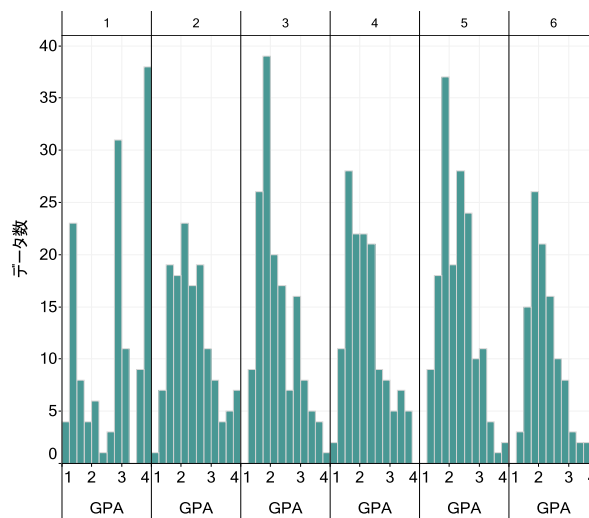


図 5-3 学年ごとの GPA



X 図 5-4 各学年における GPA ヒストグラム

表 5-3 歯学部学年別・性別 GPA 値

学 年	1		2		3		4		5		6	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
データ数	88	50	88	51	101	51	103	37	107	56	71	36
平均	2.55	3.14	2.27	2.50	2.08	2.45	2.10	2.37	2.16	2.45	2.19	2.26
標準偏差	0.97	0.79	0.62	0.69	0.51	0.62	0.59	0.58	0.51	0.54	0.51	0.52
性 差 (p)	0.0004		0.0467		0.0002		0.0212		0.0008		ns	
ns: not significant												

表 5-4 歯学部入試区分別 GPA 値

	指定校推薦	一般推薦	A○入試	センター	一般入試	編入学	帰国子女	再入学
データ数	111	129	176	33	359	26	1	4
平均	2.37	2.21	2.18	2.53	2.37	3.02	3.78	1.79
標準偏差	0.68	0.67	0.64	0.75	0.68	0.45		0.35
ANOVA (p)	0.0000						-	-

表 5-5 入試区分別多重比較結果

	指定校推薦	一般推薦	A○入試	センター	一般入試
一般推薦	ns				
A○入試	0.0216	ns			
センター	ns	0.0173	0.0058		
一般入試	ns	0.0235	0.0026	ns	
編入学	0.0000	0.0000	0.0000	0.0060	0.0000

表 5-6 歯学部入試区分別・性別 GPA 値

性別	入試区分	指定校推薦	一般推薦	A○入試	一般入試	センター	編入学	帰国子女	再入学
男	データ数	60	85	113	256	23	16	1	4
	平均	2.14	2.11	2.14	2.25	2.37	2.99	3.78	1.79
	標準偏差	0.52	0.67	0.66	0.64	0.69	0.44		0.35
女	データ数	51	44	63	103	10	10		
	平均	2.63	2.41	2.26	2.65	2.91	3.06		
	標準偏差	0.76	0.62	0.61	0.67	0.79	0.50		
性差 (p)	0.0001	0.0141	ns	0.0000	ns	ns	-	-	
ns: not significant									



表 5-7 歯学部入試区分別・学年別 GPA 値

学年	入試区分	指定校推薦	一般推薦	A〇入試	一般入試	センター	編入学	帰国子女	再入学
1	データ数	19	26	24	60	7		1	1
	平均	<b>3.06</b>	<b>2.46</b>	<b>2.77</b>	<b>2.75</b>	<b>3.25</b>		<b>3.78</b>	<b>1.50</b>
	標準偏差	0.94	1.02	0.94	0.90	0.90			
2	データ数	26	26	20	65	2			
	平均	<b>2.30</b>	<b>2.26</b>	<b>2.19</b>	<b>2.46</b>	<b>3.03</b>			
	標準偏差	0.57	0.61	0.56	0.70	1.21			
3	データ数	22	29	37	56	6	2		
	平均	<b>2.13</b>	<b>2.21</b>	<b>2.11</b>	<b>2.29</b>	<b>2.00</b>	<b>2.79</b>		
	標準偏差	0.49	0.53	0.54	0.65	0.47	0.59		
4	データ数	18	18	33	63	4	4		
	平均	<b>2.22</b>	<b>2.02</b>	<b>1.94</b>	<b>2.28</b>	<b>2.22</b>	<b>2.84</b>		
	標準偏差	0.66	0.46	0.44	0.65	0.75	0.26		
5	データ数	18	18	37	63	9	15		3
	平均	<b>2.33</b>	<b>2.05</b>	<b>2.14</b>	<b>2.21</b>	<b>2.27</b>	<b>3.01</b>		<b>1.89</b>
	標準偏差	0.35	0.54	0.55	0.48	0.38	0.48		0.36
6	データ数	8	12	25	52	5	5		
	平均	<b>2.02</b>	<b>2.06</b>	<b>2.10</b>	<b>2.19</b>	<b>2.71</b>	<b>3.28</b>		
	標準偏差	0.40	0.39	0.57	0.39	0.46	0.44		

表 5-8 歯学部入試区分別・学年別・性別 GPA 値

学年	性別	入試区分	指定校推薦	一般推薦	A〇入試	一般入試	センター	編入学	帰国子女	再入学
1	男	データ数	7	18	18	40	3		1	1
		平均	<b>2.41</b>	<b>2.24</b>	<b>2.81</b>	<b>2.58</b>	<b>2.76</b>		<b>3.78</b>	<b>1.50</b>
		標準偏差	0.95	1.03	0.97	0.92	1.21			
	女	データ数	12	8	6	20	4			
		平均	<b>3.43</b>	<b>2.96</b>	<b>2.65</b>	<b>3.10</b>	<b>3.61</b>			
		標準偏差	0.74	0.85	0.92	0.76	0.47			
2	男	データ数	14	16	10	47	1			
		平均	<b>2.25</b>	<b>2.20</b>	<b>2.19</b>	<b>2.29</b>	<b>3.88</b>			
		標準偏差	0.50	0.69	0.46	0.63				
	女	データ数	12	10	10	18	1			
		平均	<b>2.35</b>	<b>2.36</b>	<b>2.18</b>	<b>2.89</b>	<b>2.18</b>			
		標準偏差	0.66	0.50	0.67	0.69				
3	男	データ数	14	16	26	40	4	1		
		平均	<b>2.00</b>	<b>2.20</b>	<b>2.06</b>	<b>2.08</b>	<b>1.82</b>	<b>3.21</b>		
		標準偏差	0.43	0.51	0.51	0.54	0.17			
	女	データ数	8	13	11	16	2	1		
		平均	<b>2.36</b>	<b>2.23</b>	<b>2.24</b>	<b>2.82</b>	<b>2.35</b>	<b>2.37</b>		
		標準偏差	0.54	0.58	0.60	0.61	0.82			
4	男	データ数	14	13	20	50	4	2		
		平均	<b>2.06</b>	<b>1.92</b>	<b>1.83</b>	<b>2.23</b>	<b>2.22</b>	<b>2.88</b>		
		標準偏差	0.50	0.45	0.40	0.66	0.75	0.32		
	女	データ数	4	5	13	13	2			
		平均	<b>2.78</b>	<b>2.28</b>	<b>2.10</b>	<b>2.47</b>	<b>2.80</b>			
		標準偏差	0.90	0.43	0.47	0.57	0.31			
5	男	データ数	7	13	22	46	7	9		3
		平均	<b>2.13</b>	<b>1.95</b>	<b>2.03</b>	<b>2.13</b>	<b>2.27</b>	<b>2.89</b>		<b>1.89</b>
		標準偏差	0.21	0.57	0.53	0.44	0.42	0.46		0.36
	女	データ数	11	5	15	17	2	6		
		平均	<b>2.45</b>	<b>2.31</b>	<b>2.30</b>	<b>2.40</b>	<b>2.25</b>	<b>3.19</b>		
		標準偏差	0.37	0.42	0.57	0.52	0.35	0.49		
6	男	データ数	4	9	17	33	4	4		
		平均	<b>2.06</b>	<b>1.99</b>	<b>2.00</b>	<b>2.20</b>	<b>2.56</b>	<b>3.22</b>		
		標準偏差	0.34	0.32	0.51	0.44	0.38	0.49		
	女	データ数	4	3	8	19	1	1		
		平均	<b>1.99</b>	<b>2.29</b>	<b>2.31</b>	<b>2.18</b>	<b>3.29</b>	<b>3.50</b>		
		標準偏差	0.50	0.59	0.66	0.31				

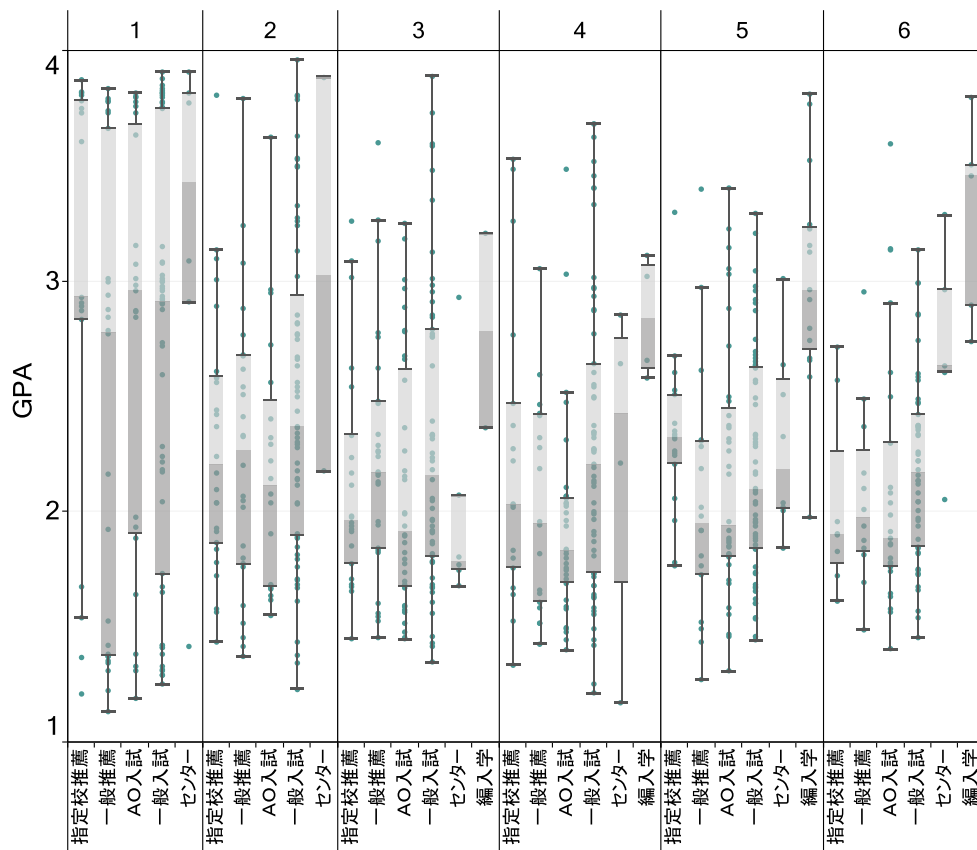


図 5-4 歯学部における入試区分別 GPA

## IV 小 括

### 1 方法について

本最終報告に先行し、2017年3月に「朝日大学における学生のGPAによる評価および入試区分との関係（二次報告）」と題し、IR推進本部として初めて朝日大学学生のGPA値と入試区分との関係についての途中経過の報告を行った。二次報告と本最終報告との違いを表IV-1に示す。主な違いは、対象学生と成績データ収集期間の違いである。

表IV-1 二次報告と最終報告との主な違い

	二次報告	最終報告
報 告	2017年3月28日	2017年10月25日
データ収集	2016年11月から12月	2017年4月27日～5月27日
対象学部・学科	法学部、経営学部(経営学科、ビジネス企画学科)、保健医療学部看護学科、歯学部	同 左
学年と成績評価	法学部、経営学部(経営学科、ビジネス企画学科)は1年生から4年生の2016年度前期までの総合評価GPA値	法学部、経営学部(経営学科、ビジネス企画学科)は1年生から4年生卒業(2016年度3月末時点)までの総合評価GPA値
	保健医療学部看護学科は1年生から3年生 前期までの総合評価GPA値	保健医療学部看護学科は、1年生から3年生の2016年末時点での総合評価GPA値
	歯学部は1年生を除く、2年生から6年生の2015年度総合評価GPA値	歯学部では2016年度の1年生から6年生卒業までのGPA値

### 2 結果について

#### 1) 法学部

法学部における入試区分とGPA値との関係について検討した結果、次の様であった。

- ① 法学部における全学年のGPA平均値(SD)は、2.14(0.83)であった。平均をピークに左右にほぼ正規分布していた。
- ② 全体的には、女子学生の方がGPA値が高かった。
- ③ 学年間でGPAの差はみられなかった。
- ④ GPAの性差は、3年生で女子が高かったが、他はみられない傾向にあった。(表2-3)
- ⑤ 入試区分別では、センター入試2.78が有意に高いGPA値を示し、次いで指定校推薦2.68であった。
- ⑥ 入試区分と性差との関係をみると、一般・スポーツ推薦に女子が有意に高いGPA値を示していたが、指定校推薦には性差はなかった。
- ⑦ 学年別に入試区分との関係を検討すると、指定校推薦と一般入試が高いGPAを示していた。

- ⑧ いずれの学年とも GPA と高校評定値との間に、全学年とも比較的有意に高い正の相関を示していた。

## 2) 経営学部

### (1) 経営学科

- ① 経営学科における全学年の GPA 値 (SD)は、2.63(0.96)であった。GPA 値 3 以上で 4 に近い GPA を示す学生が多いのが本科の特徴であった。
- ② 全体的には、女子学生の方が GPA 値が高かった。
- ③ 学年間には差はなかった。
- ④ 性差は、3 学年を除き認められなかった。
- ⑤ 入試区分では、指定校 3.13 が AO 入試 3.06 やスポーツ推薦乳歯 2.40 に対し、有意に高い GPA を示し、留学生 2.05 が最も低い GPA を示していた。なお入試区分の検討で一般入試およびセンター試験入試は対象者が少ないため検討からは除外した。
- ⑥ 入試区分で性差が認められ、いずれも女子が高かった。
- ⑦ 学年別に入試区分との関係を検討すると、指定校推薦が高い GPA を示し、留学生が低かった。これは日本語での教育という語学上の問題も原因として考えられた。
- ⑧ GPA と高校評定との間で、全体的に高い正の相関が認められた。

### (2) ビジネス企画学科

- ① GPA 平均値 (SD)は 2.23 (0.77)であった。平均値を中心に左右にほぼ正規分布していた。
- ② GPA は性差が認められ、男子 2.14 に対し女子 2.80 と女子が有意に高かった。
- ③ 学年間に GPA の差はなかった。
- ④ 各学年とも性差が認められ、いずれも女子が高い GPA を示していた。
- ⑤ 入試区分では、入学者数の少なかった一般入試、センター入試を除くと、GPA は指定校 2.59 が有意に高く、AO 入試が 2.06 と低かった。
- ⑥ 各入試区分とも性差が認められ、女子が高かった。
- ⑦ 学年別に入試区分との関係を検討すると、指定校推薦が高い GPA を示していた。
- ⑧ GPA と高校評定値との間には正の相関が認められた。中でも 1 年生の相関が  $r=0.81$  と高かった。

### 3) 保健医療学部・看護学科

- ① GPA 平均値 (SD)は 2.43 (0.50)であった。平均値を中心にほぼ正規分布をしていた。
- ② 性差については、女子 2.48 が男子 2.14 よりも有意に高い GPA 値を示していた。
- ③ 学年間差については、GPA 値に差はみられなかった。

- ④ 各学年の性差については、1年生と3年生に認められ、女子のGPA値が有意に高かった。
- ⑤ 入試区分間にGPAの有意差が認められ、指定校の2.61が最も高く、次いで一般入試2.54、一般推薦2.25の順であった。
- ⑥ GPAの入試区分別性差では、指定校、センターを除くと、一般推薦では差が無く、一般入試で女子が有意に高かった。
- ⑦ 各学年における入試区分間差については、1学年で有意差がみられ、指定校2.83、一般入試2.45、一般推薦2.07の順であった。2年生では入試区分間で差はみられなかった。3年生では一般入試2.65が一般推薦2.37に対し有意に高かった。
- ⑧ GPAと高校評定値との間には、いずれの学年とも有意な正の相関が認められ、中でも1年生が $r=0.66$ と2,3年生に比較して高い正の相関を示していた。

#### 4) 歯学部

- ① 集計について、2016年度新学期の開始時点では、全体で877名(1学年134、2学年149、3学年145、4学年145、5学年159、6学年145名)であった。しかしその年度の最終成績まで出せたのは、1学年117、2学年122、3学年125、4学年113、5学年128、6学年107名の計712名であった。そこに留年者(2学年留年21、3学年留年17、4学年留年27、5学年留年27、6学年留年35名)を含めると、各学年のGPA対象者は1学年138、2学年139、3学年152、4学年140、5学年163、6学年107名の計712名であった。また歯学部では通年制を実施しているため、1科目でも“不可”の科目があれば留年し該当年のGPA成績は出ない。したがってその者については前年度のGPA値を前年学年に適用し、統計処理を行った。
- ② 全学年GPAの平均値(SD)は2.33(0.68)で、左方にピークがあった。
- ③ 全学年の性差は、女子2.55が男子2.22より有意に高いGPA値を示した。
- ④ 学年間では、1年生2.98が最も高く、6年生2.14まで、学年の進行でGPA値は有意に低下していた。
- ⑤ しかし学年別GPAのヒストグラムを検討すると、1年生のみがGPAの低、中、高にそれぞれピークをもつ“いびつ”な分布を示している。これが何に原因するのか1年生科目を担当している教員は精査すべきであろう。
- ⑥ GPA性差について、1,2,3,5年生で有意な差がみられ、いずれも女子が高かった。
- ⑦ 入試区分間の比較では、編入学3.02のGPAは他の全ての入試区分より有意に高く、次いでセンター入試2.53、一般入試2.37、指定校推薦2.37の順であり、一般推薦2.21やAO入試2.18は、GPAは有意に低かった。
- ⑧ 入試区分別性差について、指定校、一般推薦、AO、一般入試において、GPAはいずれも女子が男子より高かった。
- ⑨ 3~6年生における編入学生のGPA値は他の入試区分より著しく高かった。ただし1

年生においては箱ひげグラフのトレンドは他の学年と異なり全体に上位に平均があり下方に偏差が大きい特徴があった。これは何を意味するのか検討すべきである。

## V まとめ

GPA 分析で学部の特徴がみられた。法学部と保健医療学部はほぼ平均値を中心に左右に正規分布していたが、歯学部は左方（GPA の低い方）にピークがあり、経営学科は比較的右方にピークがあった。この理由として、歯学部では必須の科目が多いこと、覚えなければならない項目が多いことなどが GPA の伸びにくい理由と考えられた。また歯学部では学習および試験に対する取組として、高い得点を目指すものでなく、「合格」レベルを目指す学生が多くいることも GPA のスコアが伸びにくい理由と考えられた。

経営学部経営学科においては会計研が特に高い GPA 値を獲得しているものと考えられた。

性差をみると、いずれの学部・学年・入試区分とも、女子が男子学生よりも高い GPA を獲得していた。

入試区分でも学部・学科の特徴がみられた。法学部は、指定校が高く、次いでセンター入試であった。経営学科では、指定校と AO 入試が高い GPA を示し、留学生が低かった。ビジネス企画学科では、センター入試が最も高く、次いで指定校推薦、一般入試であった。看護学科は、指定校・一般入試が一般推薦よりも安定して高い GPA を示していた。歯学部では、編入学生が特に高く、次いで一般入試、指定校推薦、一般推薦・AO 入試の順であった。

高校評定値と GPA との相関をみると、歯学部を除くどの学部・学科とも正の相関がみられた。中でも経営学部経営学科の相関係数が法学部・経営学部ビジネス企画学科・看護学科に比し高い相関を示していた。これは各学部学科とも本学教育内容が高校・受験生から高い評価を受ければ、さらに優秀な高校生が本学を希望する、あるいは高校から推薦してくれるという好循環が生まれてくる証ではないであろうか。

今回、IR 推進本部で初めて全学部・学科における 2016 年度末までの GPA 値を集計した。国は高等教育のディプロマポリシー成績評価の中に GPA による評価を取り入れることを求めている。本学でも 2016 年度における GPA 値を出発点として、学生がさらに高い GPA 値を採れるように、各学部・学科・教員間で PDCA を働かせ、GPA の最大化を目指して学生を教育・指導すべきと考える。それが朝日大学の評価を高めることになる。

## 朝日大学 IR 推進本部

本部長 田村 康夫（副学長）

推進委員 高梨 文彦（法学部）、板谷 雄二（経営学部）、須賀 京子（保健医療学部看護学科）、竹島 伸生（保健医療学部健康スポーツ科学科）、玉置 幸道（歯学部）、服部 哲明（教職課程センター）

推進スタッフ 臼井 文昭（入試広報課）、大鷹 正之（情報教育研究センター）、柘植 隆志（総務課）